

2011年11月11日に婚姻件数増加？ 結婚するのに多いのはゾロ目と祝日。

～『夫婦関係調査2011』より～

株式会社リクルートが運営するブライダル総研より、『夫婦関係調査2011』（首都圏、東海、関西在住の20代から60代の既婚者及び離婚経験のある独身者、計1200人を対象）から見えてきた夫婦関係の状況や特徴に関する分析をお伝えします。

もうすぐ2011年11月11日。1並びのこの日は婚姻届を出すカップルが増えると予想されます。昨年も“2010年10月10日”に婚姻届けを出した人が多く、普段の10倍以上も婚姻届が出された役所もあるそうです。それでは、結婚するのに多いのはどんな日なのでしょうか。

①結婚をした日の第1位は「10月10日」。

『夫婦関係調査2011』で、首都圏、東海、関西在住の20代から60代の既婚者1000人に「結婚をした日はいつですか？」と言う質問をしたところ、一番多かった答えは「10月10日」でした。

昨年は“2010年10月10日”と“10”並びだったこと、またかつては毎年、体育の日で祝日だったことが要因となっていそうです。

2位に続くのは「11月3日」、3位は「5月5日」、4位「4月29日」と結婚式シーズンの秋と春の祝日が上位となっています。

②ゾロ目は1990年代以降に増える。「11月22日」も2000年以降増加。

また、4位には「11月22日」と「いい夫婦の日」もランクインしました。この日に結婚した人は2000年以降に増加したようです。

他にも、時系列を見てみると、変化が見られます。「7月7日」や「8月8日」など、“ゾロ目”の日は1990年以降増加傾向にあるようです。平成になったことや2000年以降“年”も含めたゾロ目日が発生しているのが原因と言えそうです。

2011年11月11日は、今世紀最大級のゾロ目の日。この日も結婚をするカップルがえそうですね。

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、“リクルート ブライダル総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

「ブライダル総研」は、株式会社リクルートのブライダルカンパニーに設置されている調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

<http://bridal-souken.net/>

■調査名：『夫婦関係調査2011』より

【参考データ】

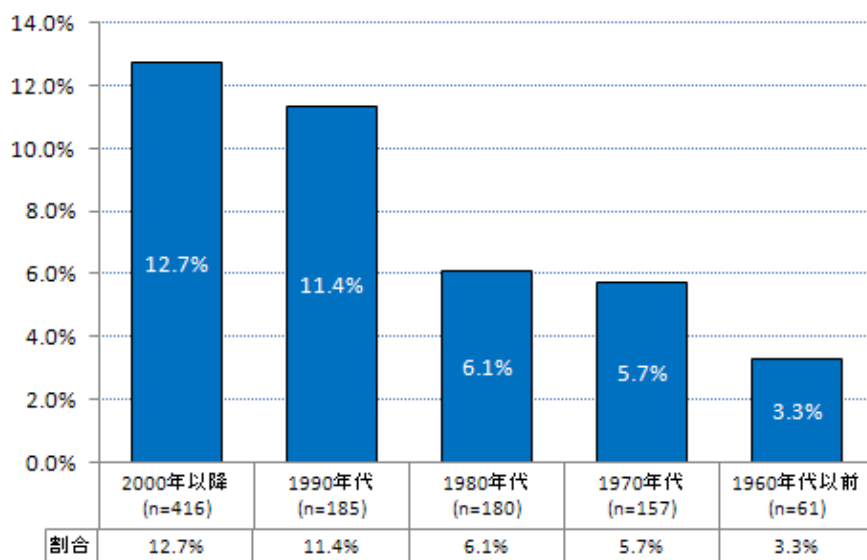
■結婚をした日ランキング（既婚者／単一回答）

n = 1000

順位	日にち	回答者数 (人)
1位	10月 10日	17
2位	11月 3日	14
3位	5月 5日	13
4位	4月 29日	12
4位	11月 22日	12
6位	2月 11日	11
6位	7月 7日	11
8位	3月 15日	10
8位	11月 23日	10
10位	3月 3日	9
10位	10月 1日	9
10位	12月 24日	9

	祝日+ゾロ目
	祝日
	ゾロ目

■ゾロ目に結婚をした人の割合-結婚した年代別-（既婚者／複数回答）



【調査概要】

【調査名】 夫婦関係調査2011

【調査方法】 インターネット調査

【調査期間】 2011年3月24日(木)～3月29日(火)

【調査対象】 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)、東海(愛知・岐阜・三重)、関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山)在住で、「既婚者かつ本人初婚」および「離婚経験のある独身者かつ結婚経験1階」の20代～60代の男女。

【集計サンプル数】 計1200人

「既婚者かつ本人初婚」20代・30代・40代・50代・60代 各世代の男女各100人

「離婚経験のある独身者かつ結婚経験1回」20代・30代・40代・50代・60代 各世代の男女各20人

※本調査における「既婚者」「未婚者」「独身者」は、以下のように定義させていただきます。

「既婚者」＝現在配偶者のいる者(有配偶者)

「未婚者」＝結婚経験のない者

「独身者」＝結婚経験があるが、現在配偶者のいない者(無配偶者)